

第64回
全国保育問題
研究集会



石川集会
速報
第4号

③

分科会特集特集号

今回の加賀五彩は古代紫です。

分科会 障害児保育

- ・好きな遊びをきっかけにしながら
加配の先生との関係を深めてきた
- ・担任の保育者と加配の保育者とのとの連携
- ・行事の取り組みについて（運動会）
- ・保護者との関わり
- ・クラスの他の友だちとの関わり などが話されています。



障害児保育

Hちゃんに心を通わせる保育園

同じ様な今現在の子供達には
環境の整備が大切で、その中で
遊びを通して（保護者と一緒に）

現在、この園では週に2回、障害児の
ための特別支援活動が行われて
いると聞いています。

発達支援員や先生、相談士などが
関わっています。来年少学級の
普通の子供達との交流も大切に
行っている保育者が多いと聞
きました。

2017年10月の成長記録から
見ると、Hちゃんもこの活動に
参加していることが分かります。

熊本県 民間研 名前 川口 紗子

障害児保育

この日の提案をいろいろ
方の視座で見てみる

意見をお聞かせください。

自分のIDでの発表をお願いします。

1時間12分、13分、14分

15分、16分、17分、18分

19分、20分、21分、22分

23分、24分、25分、26分

27分、28分、29分、30分

東京 民間研 名前 白 清

障がい児保育に参加して

Hちゃんが安心して保育園生活を

過ごせるように加配保育士だけでなく

担任保育士と一緒に「楽なカード」活動の

内容を考えていたことがHちゃんの安心、

生き生きとした表情につながったと

思った。

保育者支援の難しさを感じた。

民間研 名前

分科会 父母とともにつくる保育内容

「いっしょにつくろう! 楽しい学童保育」
「楽しい」は自己肯定感を
育む! に納得し
共感です。

石川 保問研 名前 H

父母とともにつくる保育

子どもはもちろん、保護者も
表面的に見える姿や
言葉の裏にある鬼心に
心寄せしていくことで保護
者との関わりを必要以上に
こわがらなくて良いとのだと
思えました。

大隈 保問研 名前 高山

父母とともにつくる保育内容に参加して
会場で子どもたちやスタッフ、保護者関係
の皆様と交流。そこから見てくるとのモ
チベーションによりよい環境にしていきたい
参加者の思いが伝わってきました。
人とのつながりがとてもいい経験は
やはり大事だと感じました。

園長 保問研 名前 八幡聡美

父母とともにつくる保育内容

子どもたちの姿を保護者に見る
おとなの役割を担う保育者。
今回の会に参加するのは、保護者も
“自分を認めたい”ということがある
背景を学びたい。日々の関わりの中で
緊張がほぐれるのは、とても嬉しい
を大事にしていきたいと思いに。
管長 保問研 名前 森山真以



分科会 乳幼児期の平和教育



乳幼児期の平和教育
 アイスブレイキングから始まり、
 いまは笑顔のなごやかな
 雰囲気になったスタート。まだ
 (1)と(2)の授業の準備ができていない
 ために、「文化を受け継ぐ」感
 に共感しました。
 京都 保岡研 名前 すぎま

分科会
 乳幼児期の平和教育
 参加者2名という少人数
 で、1時間アイスブレイクをしてから
 10分、参加者の目的の共有と共有
 確認のため、緊張が緩和され、1時間
 未満にアイスブレイクの中で「平和の
 考え」「平和」「平和」は？という交流が
 あり、皆様の発表内容も参加者同士の
 共有あり。
 大阪 保岡研 名前 森佑佳

乳幼児期の
 平和教育者に参加
 “平和”について考えたこと
 この分科会に参加しました。
 (他の方の角度からの平和について)
 提案発表やその意見交換
 などで、1時間以上の思いや考えを共有
 自分たちの“平和”をさらに深めて
 いきたいです。この分科会を通じて
 兵庫 保岡研 名前 住岡



特別分科会

異年齢保育の分科会に参加して

今年度もたくさんの方の提案を
由も、多くを学ばせてもらいました。

子どもと共に子どもの“いま”を
おもしろがりながらおとなも
子どももありのままの自分で安心して
自分らしく過ごせる保育づくりに
職場の仲間と共にみがきをかけて
いこうと思いをしました。

京都 保問研 名前 原田 真里



異年齢 保育

異年齢保育

あたり前だと思っていた暮らしの中
には、まだまだ子どもから教わらしたり
気付かせてくれる事が多い日々の
すばらしいんだなと思いました。子どもも
子どもも大人も保護者の方も互いに知ろ
いくことが日々の暮らしのおもしろさに
つながっていきけたらなと思いました。

滋賀 保問研 名前 今井 知恵



特別企画 「田島征三が語る」

絵描きである田島氏。

立体物にも興味を持ち、ハンセン病の収容所があった島に「青空水族館」を創った。

今までは自分で絵筆を持って描いていた。小学校全部をつくるのはそれでは難しいので、人の手を借りた。

そのときは自分じゃない力が入ることによって、かえっておもしろくなる発見をした …… （講演より）

